

授業科目

児童福祉論Ⅰ

【担当教員名】 塩見義彦		対象学年	2	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 日本経済が停滞して久しいが、なお、全国的な都市化現象等地域社会の変貌は著しく、そこに暮らす子ども達の生活ストレスを背景とした様々な問題行動が浮き彫りになっている。児童、子育て環境、社会のありよう全体を視野に入れ、そこで生み出される子ども自身の問題と多様な家族形態の中で抱える児童家庭問題の本質を考えてみたい。その上で、現行の児童福祉諸制度、児童福祉の理念、さらには政策・制度の現状と問題点について論じ少子高齢化が一段と進む中、子どものすこやかな成長を支える児童福祉、児童家庭福祉はいかにあるべきかを考える。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 Ⅰ 児童福祉の歴史と基礎概念について学習する。 Ⅱ 現代社会と児童福祉について学ぶ。 Ⅲ 子供を健やかに生み育てる環境について考える。 Ⅳ 児童福祉の法と児童福祉施策、実施体制について学ぶ。 Ⅴ 児童福祉にかかわる専門機関、専門職種について学習する。					
回数	授業計画又は学習の主題(変更の可能性あり)				SBO 番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	児童福祉の変遷	欧米の児童福祉の歴史について学ぶ			講義中心
2		日本の児童福祉の歴史について学ぶ			
3	児童福祉の理念	児童福祉の意味と目的、児童福祉の理念と概念について学ぶ			
4	現代社会と児童福祉	人間の成長・発達と児童			
5		家庭環境の変化とストレス社会における児童福祉について学ぶ			
6		地域社会の変貌と求められる支援システムについて学ぶ			
7	子供を健やかに生み	少子化と施策の計画的推進について学ぶ			
8	育てる環境作り	子供の環境を巡る現状と施策の視点と基本的方向について学ぶ			
9		児童虐待対策Ⅰ			
10		児童虐待対策Ⅱ			
11	児童福祉法制度Ⅰ	児童福祉法及び関連する法律について理解を深める			
12	児童福祉法制度Ⅱ	同上			
13	児童福祉法制度Ⅲ	同上			
14	児童福祉の実施体制Ⅰ	児童福祉諸活動の実施体制について理解を深める			
15	児童福祉の実施体制Ⅱ	同上			
		授業の進捗状況等都合により変更することがある。			
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書		「児童福祉論」 「新版・社会福祉学習双書」編集委員会 全社協			
参考書		「児童福祉論」 福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版 2005・			
その他の資料		必要の都度指示、配布する			
【評価方法】 レポート、試験、出席状況、授業態度等総合的に評価する		【履修上の留意点】			